

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-04	事務事業名 乳児健康診査事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	-------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	<p>実施方法としては、集団方式により保谷保健福祉総合センターで年間28回実施している。なお、平成21年度から市民の利便性に考慮し、BCGと同日実施としている。また、会場は1会場となるため、バスによる送迎を実施している。</p> <p>また、実施内容については、医師による健康診査及び保健指導、各種専門職員による集団指導(オリエンテーション・栄養・歯科)と個別相談(心理・栄養・保健・母性・理学)、身体計測、産婦健診などを行なっている。</p> <p>(予算：4.1.3.18乳児健康診査事業費)</p>	
事業開始時期	9 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		24,637	26,056	24,334	33,691
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	180
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ( )		0	0	0	0
一般財源		24,637	26,056	24,334	33,511
所要人員(B)	人	0.43	0.43	0.43	0.43
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,511	3,474	3,474	3,511
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	28,148	29,530	27,808	37,202
単位当たりコスト(E)=(D)/(受診者数)	千円	17	19	17	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①実施回数	実績値 回	34	32	30	28
②通知者数	実績値 人	1,716	1,584	1,708	1,900
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
①実施回数:健診実施回数(BCGとの同日実施を可能にするため医師を1名増員したことによる効率的な流れの確立に伴い、実施回数の見直しを行った)②通知者数:健診対象者に発送した通知の数(対象者数の変動に併せ実績値は変動する)					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 受診者数	目標値 人	1,544	1,533	1,700	1,700
	実績値 人	1,662	1,572	1,683	
二 受診率	目標値 %	90	90	90	90
	実績値 %	96.9	99.1	98.5	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
・[受診者数]生後3か月以上5か月未満に受診した者/[受診率]受診者数/対象者数					
・BCGとの同日実施としたことにより、市民の利便性が増し受診率が上がった。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	BCGとの同日開催は便利で良い。色んな職種に相談に乗ってもらえよかった。医療機関や地域の情報など知ることができよかった(転入者)。迷いながら育児をしていたがねぎらいの言葉をかけてもらい気持ちが落ち着いた...など。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下           母子保健法に基づく事業で実施基準が定められており、また、健診回数も毎年見直しをしているため、同規模の自治体と大きな差は見られない。BCGとの同日実施開催の効果もあり、受診率は高水準を保っている。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無           代替・類似サービスはない。

事業コード 04-01-04	事務事業名 乳児健康診査事業	所管部課 市民部 健康課
-------------------	----------------	-----------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだこころの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>健康診査は疾病や異常の早期発見の機会として、さらに疾病などの発生子防のための保健指導に結びつける機会として重要で、法で体系化が図られている。</p> <p>集団で行う健診は受診者の発達状況だけでなく、養育状況を把握する場となり、必要に応じた市内での支援体制につなげることもできる。健診未受診者の中にはネグレクトなどの子ども虐待が把握されることもある。集団健診は誰もが受診する事業であり、構えることなく自然な形で必要に応じた支援体制をとっていきける。そのため、要保護・要支援対策の取り組みを行っていく上で、乳児家庭全戸訪問事業後初めの健診を市で直営で行っている意味合いは深く、その後の市とのかかわりを築く上でも継続していく必要がある。</p> <p>また、市民の利便性を踏まえ、段階的に健診回数の見直しを行ってきたが、受診率の向上と併せ未受診者（未来所者）について、ほぼ全員の動向が把握できている。そのため、事後の対応の対策もとれるようになっている。</p> <p>・西東京市健康づくり推進プランでの受診率の目標値は90%以上現状維持としている。また、21年度の都平均受診率は96.1%で何れも上回っている。</p> <p>・健診受診者のうち、何らかの所見を指摘された者の割合は市28.1%、都31.3%で50%タイルに入っており、健診の質も保たれていると考えられる。</p>
	事業の必要性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	3	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	3		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>受診率は高率を維持しており、また未受診者のフォローもされていることから、受診率で判断することよりも受診者の中から事業目的である「健康を阻害する因子・障害を早期に発見し、適正な医療・回復の援助につなげる」点についての実態把握、検証を深める努力を期待する。また、母子保健センターの廃止に伴い創設された連絡便は、年間100万円を超える経費となっているにもかかわらず、利用率が低く、一部の路線のみの運行という点においても公平性・効率性が問われる。運行廃止も含め検討されたい。</p>
	事業の必要性	3	<input type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、乳児の発達状況や養育状況を把握する上で非常に重要な機会であり、受診率も目標値を上回っていることから、今後も現在の水準の維持・向上に努められたい。</p> <p>なお、二次評価で指摘のある連絡バスについては、利用実態を把握した上で、ルート・本数等を精査して運用の改善を図られたい。</p>